

第8回「東池袋地区補助第81号線沿道まちづくり協議会」(見学会)概要

① 日時 : 平成17年6月29日(日) 午後1時05分～5時30分

② 出席者 : まちづくり協議会委員7名、東京都8名、豊島区3名

(株)首都圏総合計画研究所4名、(株)日建設計3名

※江戸川区役所の方(5名)には現地で説明をいただいた。

行程 :

13:00 集合(区立中央図書館前)・出発

↓ *移動:【都電荒川線】向原 → 小台

13:30 小台到着

↓ ●見学①都電沿い(小台 → 宮ノ前)(10分)

13:40 宮ノ前到着

↓ *移動:【都電荒川線】宮ノ前 → 町屋二丁目

13:50 町屋二丁目到着

↓ ●見学②都電沿い(町屋二丁目 → 町屋駅前)(10分)

14:00 町屋出発

↓ *移動:【東京メトロ等】町屋 → 大手町 → 住吉 → 一之江

14:50 一之江到着

↓ ●見学③一之江4丁目北地区ほか(60分)

15:50

↓ ●見学④一之江駅前共同化住宅「ステーションフラッツ」(40分)

●意見交換(於:瑞江会館)(60分)

17:30 解散(一之江駅前)

③ 意見交換要旨

(○:協議会委員の意見等、⇒:意見への回答等)

1. 共同建替について

○ 共同建替の完成に至る課程で大変であったことはなにか。 ⇒地権者のみなさまによる組合が常に一体感を持って運営していくことが大変であったと思う。行政としては、国に補助金の申請などをしながら組合を見守っていた。また、コンサルタントにも協力してもらい、地権者にきめ細かな個別対応をしてもらった。また、引っ越しが困難な年配の地権者や経済面で不安を抱えている地権者が多かったが、区は逃げられない立場にあり、最後までご相談させていただいた。(江戸川区)

○ 共同建替を実施するにあたって地権者としてはどのような心配があったのか。
⇒途中から共同建替に参加したため、参加するまでは他の地権者とのコミュニケーションが円滑にいくかが心配であった。共同建替の完成時は泣いて喜ぶ地権者もいた。完成は、地権者のみなさんの努力の賜であると思っている。(ステーションフラッツ地権者)

2. 協議会について

- 地区計画をつくる前の段階において、まちづくり協議会への当事者の参加はどの程度あったか。⇒区画整理事業が進んでいる篠崎駅周辺地区のまちづくり協議会では、私道単位、街区単位、テーマ別の会合など年に延べ230回ぐらい開催した時もあった。参加されない方に対しては、協議会の内容を知らせるために、協議会ニュースを頻繁に発行したり、町会の回覧板や町議会の広報を活用したりした。但し、東池袋地区の様な協議会は、江戸川区では月に1回ぐらいのペースで基本的な協議を進めている。協議会では、ただ集まるだけではなく、目標をもって常に話の内容が会を重ねるごとに次のステップに進むようにするべきである。また、協議会での話の内容を理解できない人へのフォローは欠かせない。（江戸川区）

【会計報告】

(1) まちづくり連絡会基金 繰り越し金 : ￥56,070 円

(2) 支出 : ￥15,500 円

(内訳)

項目	支払先	金額	備考
都電1日乗車券(10枚)	東京都交通局	￥7,000	4枚余り(有効期限12/23)
東京メトロ230円回数券	東京地下鉄(株)	￥2,300	5枚余り(有効期限9/23)
東京メトロ160円回数券	東京地下鉄(株)	￥1,600	5枚余り(有効期限9/23)
説明者へのお礼(手みやげ)	東武百貨店池袋店	￥2,100	
レクリエーション保険契約料	東京海上自動火災保険(株)	￥2,500	
合計		￥15,500	

(3) まちづくり連絡会基金 残金 : ￥40,570 円